

特別支援教育専攻

●専攻の教育理念と教育目的

本課程は、特別支援学校教育専修と特別支援教育コーディネーター専修から成ります。それぞれ学士課程で培った資質能力を基礎とし、特別支援教育にかかる高度な実践的指導力をもち、自己の使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献する専門的職業人の育成を使命としています。そのため、学生は、特別支援教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を意識しつつ、特別支援教育に関して高度な専門的知識を習得し、それをもとに特別支援教育をめぐる現代的諸課題への対応方策を適切に考え、教育にかかわる高い技能と豊かな表現力をもってそれを実践する力を培います。

●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

<態度>

1. 高度な実践的指導力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献することができる。

<関心・意欲>

2. 特別支援教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究することができる。

<知識・理解>

3. 特別支援教育に関連する諸科学に関して高度な専門的知識を習得している。

<思考・判断>

4. 特別支援教育をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考えることができる。

<技能・表現>

5. 教育にかかわる高い技能と豊かな表現力を身につけ、高度な実践的指導力をもって特別支援教育に取り組むことができる。

●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

特別支援学校教育専修は、特別支援教育、障害児・者福祉、保健医療福祉の現代的諸問題に適切に対応できる実践的技能をもった教員、臨床家の養成を目的としています。そのため、教育や心理、保健医療福祉に関する基礎知識を有し、特別支援教育に関する諸問題を多角的な視点から分析・解釈し、問題解決に向けて柔軟に対応できる人を求めています。

特別支援教育コーディネーター専修は、幼稚園、小・中学校、高等学校の通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症などの特別な教育的支援を必要とする児童・生徒に対応する特別支援教育コーディネーターの養成を目的としています。教育・心理・医学に関する専門的知識を学習するとともに、実習を通して教育現場の現実的諸問題に対応する柔軟な実践力を養います。それゆえ、特別支援教育に携わる教員・実践家、特別支援教育の諸問題について探求したい人を求めています。

●専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムの概要

特別支援学校教育専修の場合、共通に履修すべき「学校教育の今日的課題」に加えて、聴覚言語障害及び発達障害の領域の特別支援教育に関する科目、特別支援教育実践研究を選択履修します。これらで培った研究関心は、「課題研究」を通して修士論文に結実させます。

特別支援教育コーディネーター専修の場合、発達障害領域の特別支援教育に関する科目、特別支援教育実践研究を選択履修します。これらで培った研究関心は、「課題研究」を通して修士論文に結実させます。